



中学英語教師誕生！

英語コミュニケーション学科卒業生の根間朝子さんと仲村渠美千枝（旧姓：嘉数美千枝）さんが平成 25 年度沖縄県公立学校教員候補者選考試験に見事合格し、この4月から県内の中学校で英語教師として採用され、教壇に立つことになりました。

お二人のさらなるご活躍をお祈りし、ご報告します。



仲村 渠 美千枝
英語コミュニケーション学科 2期

思い切り伸ばせた「可能性」

琉球大学理学部を卒業して数年後、海外旅行をきっかけに英語に目覚めた私は、家庭教師という経験を通して、英語を教える楽しさと、生徒の成長を支える喜びを感じ、英語教師になることを決めました。キリ学編入後は、英語教師の資質を磨くことに励み、山里先生の課外の勉強会や月曜礼拝の同時通訳、村田先生のラジオ英会話サークルなどに参加しました。検定試験にも力を入れ、大学の奨学金を得て留学することも実現できました。また、小学校英語ボランティアや塾講師を通して、教え方を磨く努力もしました。しかし、一生懸命に教員免許を取得したにもかかわらず、大学卒業後の私は、実習生ではなく本当に先生としてやっていけるのか自信がなく、そのせいか、申し込んでいた臨時教諭のチャンスもなかなか来ません。採用試験だけは別で働きながら挑戦してはいましたが、失敗の連続。複雑な思いの中、村田先生から「やってみたら？」と高校の非

常勤のお話をいただき、2年後にようやく教職の道を歩み始めることができました。現在は中学校で臨時教諭として担任をしています。初めも今も、不安な場面や生徒に困らされることは多いです。しかし、年間を通して生徒の英語力やいろんな面がだんだんと育っていく様子を見ることや、周りの先生方と協力していくことが面白く、教員という仕事にやりがいを感じています。

教員採用試験は今回で6回目。仕事をしながらの勉強は厳しかったのですが、最低でも毎日1時間、休日にまとめて勉強をしました。なかなか実を結ばない状況に落ち込んだ時は、キリ学の恩師を訪ねたり、大学同期の仲間と励まし合ったりしながらなんとか勉強を続け、ついに合格することができました。キリ学で自分の可能性を思いきり伸ばすことができたおかげで、私の今があります。やりたいことに挑戦する機会を与えてもらい、親身に支えてくださった先生方や、一緒にがんばる仲間と出会えたことで、努力し続けることができました。この経験をばねに、これからも学び続けながら、いろいろなことを子どもたちに還元していきたいと思えます。

略歴

- | | | | |
|-----------------|---------------------------------------|-----------------|-------------------------------|
| 2002. 3 | 琉球大学理学部物質地球科学科卒業、ファッションモデル兼フリーターとして勤務 | 2009. 9 | ティカレッジ 短期留学
沖縄キリスト教学院大学 卒業 |
| 2005. 9～2006. 3 | アメリカ滞在(3ヶ月)、帰国後、家庭教師を務める | | アルバイトや市役所での臨時職員として勤務 |
| 2006. 4 | 沖縄キリスト教学院大学 2年次編入 | 2011. 4～2012. 3 | 与勝高校 非常勤講師(英語) |
| 2008. 9～2009. 3 | アメリカオレゴン州 ポートランドコミュニ | 2012. 4～現在 | 恩納中学校 臨時教諭 |

夢を叶えるために

根間 朝子

英語コミュニケーション学科 4期

今年度の教員採用試験は7回目の挑戦でした。毎年、一次試験で落ちてしまい採用試験合格は夢に終わるのではないかと不安な日々が続きました。それでも、諦めるのはまだ早い、とこれまでの自分の経験を信じて、今回の試験に臨みました。最終の合格通知を頂いた時の喜びは大きく、また、これまで支えて頂いた多くの方への感謝の気持ちでいっぱいでした。

私が教師を目指したのは、中学生の頃。その頃はまだ漠然とした憧れでしかありませんでしたが、高校・大学と好きだった英語を専門的に学び続けることができ、英語教師という選択肢が見えてきました。

初めて学校現場に入った時は、学級指導も教科指導も何をやってもうまくいかず、苦しい毎日でした。途中、「自分は教員に向いていないのではないか・・・」と、挫折しそうになりましたが、様々な場面で気づかされる生徒の成長を見てると、教師という職業の魅力にますます惹かれ、一年が過ぎる頃にはこの仕事を続けようとして心に決めていました。現場経験を通して英語教師としての専門的知識の不十分さを感じ、大学編入を決めまし

た。在学中は教師としての専門的知識だけでなく広い視野で経験を積みたいと考え、多くの事に挑戦しました。同時通訳やサマーキャンプでの平和学習、スピーチコンテストや国連大学への参加など、それぞれの経験の中に新たな発見があり、チャレンジする事の意義深さを学びました。また、学ぶことの意義を改めて考えることができ、再び教壇に立つ時、生徒に伝えたいと思いました。

私は、教師という夢を実現させるまでにすごく時間がかかりました。その間、焦りや不安もありましたが、これまで準備してきたことが実を結び、今、ようやくスタートラインに立てる喜びを感じています。また、これまで多くの信頼できる人との関わりが私を成長させてくれました。私も、生徒に真摯に向き合い、様々な場面で適切な支援や指導ができるよう努めていこうと、気を引き締めています。

すぐに芽は出なくとも、小さな積み重ねが確実に自分の力の蓄えとなっていることを信じて、今後も成長し続けたいです。

略歴

- | | | | |
|----------|-----------------------------|------------|---------------------|
| 2003. 3 | キリスト教短期大学 英語科 卒業 | 2012. 4～ | 恩納村にて、学習支援員として勤務 |
| 2007. 4～ | 浦添市にて、臨時教諭として勤務 | 2013. 4～現在 | 那覇市の中学校にて、臨時教諭として勤務 |
| 2009. 4 | キリスト教学院大学 英語コミュニケーション学科 編入学 | | |
| 2011. 3 | キリスト教学院大学 英語コミュニケーション学科 卒業 | | |